

# よかご通信

2010年4月・春爛漫号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨  
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587  
Tel&Fax : 0967-62-3730  
E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)  
O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/reisi](http://www.aso.ne.jp/reisi)  
バックナンバーID = o2farm



暖かいかと思うと急に冷える日もあって、着るものにも困る今日この頃。体調管理が難しい季節ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。阿蘇では梅も桜も桃もいっぺんに咲いていっぺんに散ったような印象でしたが、皆さまのところはいかがだったでしょうか。



さて、今月も本当にたくさんことができました。何から書いていいのかわからないほど。3月下旬から5月の田植えまで、今が1年で一番忙しい時期といいいいほど。苗の準備と田んぼの準備が同時進行。耕太の作業日誌はびっしりと書き込まれ、ピリピリと緊張感に包まれた毎日です。しかし、そんなことはお構いなしの子供たち。「田んぼの仕事をするから保育園には行かない」と宣言しただけあって、これまでほとんど全ての作業に参加しています。といっても、熱心に行っているのは最初の15分くらい。あとは作業する親を横目に見ながら、せっせと自分たちの「仕事 (= 遊び)」に励んでいるんですけどね(笑) 春休みは近所の子供たちも手伝いに来てくれました。

苗づくりは、タネを選ぶところからスタート。塩水に漬けると、中身が充実していない種籾(たねもみ)は浮き、しっかりと詰まったものは沈みます。浮いたタネをざるで救い、沈んだものだけをネットに入れて水に浸すこと約1週間。その後ぬるま湯に2晩漬けたら、蒔きどきです。ぬるま湯に漬けると翌朝には小さな芽が出て、さらに翌朝にはにょろっと伸びています。去年の秋から保管していた種籾が、実は「生きていたんだ」と感動する瞬間です。



田んぼの準備もさらに複雑。冬の間熟成させた堆肥を田んぼに撒き、さらに有機肥料(鶏糞やトン糞、油粕)を撒きます。化学肥料は即効性がありますが、有機肥料はゆっくり効くので、それを計算して撒く時期を決めるのです。肥料を撒く時や耕す時は、子供たちがトラクターに乗せてもらえるチャンス。今年はなんと子供たちにハンドルまで任せてもらったのだそう。興奮しながら「今日、トラクターを自分で運転したよ!」と話してくれたものでした。耕すと黒々とした土になり、冬眠していたカエルは慌てて飛び出てきます。子供たちとどうしてもできない作業の一つに草刈りがあります。田んぼにしっかり水をためるために、田んぼのぐるりを土で固めます。これが「畦(あぜ)」。畦を塗り固める前に草を切っておくのです。「刈払い機」という、女性でも簡単に持てる機械での作業ですが、実は一番事故が多いのもこの機械。簡単なだけに、油断があるのかもしれない。今年は私も参戦。やはり二人ですれば早いものです。その間、子供たちは耕太の実家にお泊り。我が家にはないテレビがあるので大喜び。こんなときばかりは仕



方がありません。

とにかく朝から晩まで目の回りそうな忙しさですが、そんな中にも楽しみはあります。それはお弁当と温泉。田んぼから家まではほんの数百メートルの距離なのですが、家に戻る時間さえ惜しい様子の耕太。そこで、お弁当をもって田んぼに届けます。ある時は畦で。ある時は菜の花畑で。ピクニック気分で、子供たちも大喜び。その代わり、タネをとろうと思っている菜の花はずいぶん倒されました…。でも菜の花畑でぴょんぴょん飛び跳ねる子供たちを見ていたら、まあいいかと。楽しい思い出になってくれたら嬉しいです。夕食の後に家族で温泉に行くのも楽しみ。疲れのとれ方がちがいます。忙しいときこそ、体をいたわるためにちょくちょく温泉通いをしています。



牛の出産が相次ぎました。そのうち1頭はえらく難産。頼みの耕太はたまたま消防団の総会で不在。子供たちを連れ急いで牛舎にかけつけましたが、私より先にお隣さんが手伝いに来てくれていて、やっと生まれた直後でした。母牛が途中でいきむのをやめたため、男手二人でやっと引っ張り出したのだそうです。力尽きている母牛は、座ったままぜーぜーと苦しそう。心配でしばらく眺めていましたが、励志おじが声をかけて促すと、ようやく立ち上がって生まれたての子牛の体を舐め始めました。ああ、よかった！

先日、山口からお客様が訪ねて下さいました。「顔の見える生産者」にとどまらず、「お互いに知っている関係」ができたらいいなあと常々思っていますので、楽しみにしていた訪問。お会いするのは初めてでしたが、3人のお子様は着いたとたんにしいたけの菌を埋め込む作業に参加。「地味けどハマル作業だね！」と的確な名コメントを残してくれました。田んぼや牛小屋をご案内して、一緒に庭で昼食。私たちにとって本当にかげがえのないひと時でした。皆さまもぜひ遊びにいらして下さいね！別紙でご案内しているアイガモツアーでは田植え体験もできます。あか牛でバーベキューもしますので、ぜひぜひご参加下さい！！



春の風物詩・野焼きの写真をお届けします。バチバチと豪快な音を立てて燃えるのですが、今年はなかなか火がつかずに苦労しました。阿蘇五岳の山肌が黒々していますが、これもほんの束の間。あと1、2週間もすれば、新芽がいっせいに吹き出します。山菜取りに訪れる人も多いのですが、我が家はとてもそんな悠長なことはしてられません。残念。来月の通信では、田植えの報告ができるはず。どうぞお楽しみに。それでは皆さま、楽しいゴールデンウィークをお過ごし下さい。

